

1. 科目名（単位 数）	児童生徒指導論（進路指導を含む）（中等）（2 単位）	3. 科目番号	SSMP2448 SNMP2448 SCMP2448 SBMP2448 EDTS2106 EDTS2306
2. 授業担当教員	攪上 哲夫		
4. 授業形態	講義、グループワーク、事例研究、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本科目の目的は、学校における生徒指導の意義・理論及び方法を理解した上で、他の教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることである。また、進路指導及びキャリア教育の理論及び方法を理解した上で、児童生徒の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むために必要な知識・技能や素養を身に付けることである。 さらに、個別の課題を抱える児童生徒に対する指導のあり方について、事例をとおして理解を深め、現場で役立つ理論的・実践的なセンスや能力を養うことを目指す。		
8. 学習目標	本科目の目的を達成するために、以下の到達目標を設定する。 1. ガイダンスの機能の充実による生徒指導の意義・役割について理解する。 2. 生徒指導（教育相談を含む）の進め方や生徒指導の方法を理解する。 3. 進路指導の意義・方法及びキャリア教育のねらい・進め方について理解する。 4. 生徒指導に基づく学級（ホームルーム）経営の方法及び配慮事項等について理解する。 5. 事例研究を通じて、生徒指導上の諸問題への対応策・改善策について学ぶ。		
9. アサシメント （宿題）及びレポ ート課題	1. 学習進度に応じた小レポートを課す。 2. 中間・期末レポート 各2,000字程度。 レポート①「令和6年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の速報値を分析し、考察しなさい。」 レポート②「若者の就労にかかわる問題を調べ、中学校、高等学校における進路指導・キャリア教育をどのように進めたらよいか述べなさい。」 3. 各回単位で小レポート課題を課すこともある。		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 文部科学省（2023 年）『生徒指導提要 令和4 年 12 月改訂 コンパクト版・関連法令付録』ジアース教育新社 【参考書】 新井立夫 執筆・編集責任者『進路アドバイザーのための基礎知識 2024 年度』大学新聞社 文部科学省『中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 総則編』東山書房 平成 30 年。 文部科学省『高等学校学習指導要領（平成 30 年告示）解説 総則編』東洋館出版社、平成 31 年。 文部科学省『中学校学習指導要領解説 特別活動編』東山出版社、平成 29 年。 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』東京書籍、平成 31 年。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育の意義や原理を理解しているか。（知識・理解） 2. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育に関する今日の課題に関心をもち、自ら進んで課題解決に向けて取り組むことができたか。（関心・意欲・態度） 3. 生徒指導及び進路指導・キャリア教育の指導の進め方に関する理論を理解した上で、個別の事例に対する指導のあり方について具体的な提案をすることができたか。（思考力・判断力・表現力） ○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。 1. 積極的態度（発言、討議、取り組み等） 総合点の30％ 2. レポート等（小課題、試験を含む） 総合点の70％		
12. 受講生への メッセージ	生徒指導・進路指導の今日の問題を扱いながら、その理論と実践を織り交ぜながら授業を展開する。生徒指導・進路指導に関する新聞等の情報及び、政府等の調査会より発表される生徒指導の統計等より、日頃より生徒指導への関心を向け、学習に生かしてほしい。教科書は、「生徒指導提要（改訂版）」を使用する。また、デジタルで視聴することができるので、各回指示されたページを予習し授業に臨むこと。なお、新型コロナウイルスの流行により zoom での授業に対応した場合は、授業の5 分前までに端末の前に座って準備すること。		
13. オフィスアワー	第1 回授業の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1 回	ガイダンス 第Ⅰ部 生徒指導の基本的な進め方 教科書 第1 章「生徒指導の基礎」 ・生徒指導の意義 pp. 12-17 ・生徒指導の構造 pp. 17-23	事前学習	シラバス及び教科書 pp. 12～23 を通読し、生徒指導の意義・構造の概要をつかみ講義に臨む。
		事後学習	生徒指導の意義・構造について振り返る。

第 2 回	教科書 第 1 章生徒指導の基礎 pp. 23-28 ・生徒指導の方法 「石隈・田村式援助チームシート」の活用	事前学習	教科書 pp. 23～28 を通読し、生徒指導の方法について予習する。
		事後学習	生徒理解の方法について復習し、個別支援計画案を立てる。
第 3 回	教科書 第 2 章 生徒指導と教育課程 pp. 39-52 ・生徒指導の発達を支える教育課程 pp. 39-44 ・教科の指導と生徒指導 pp. 44-48 ・道徳科を要とした道徳教育における生徒指導 pp. 48-52	事前学習	教科書 pp. 39-52 を通読し、生徒指導と教育課程について予習する。
		事後学習	道徳と生徒指導の関係について振り返る。
第 4 回	教科書 第 3 章チーム学校による生徒指導体制 pp. 101-118 ・生徒指導に関する法制度等の運用体制 ・学校・家庭・関係機関等との連携・協働	事前学習	教科書 pp. 101～118 を通読し、生徒指導体制について予習する。
		事後学習	生徒指導体制の確立の重要性について考察し、教員組織における生徒指導の在り方をまとめる。
第 5 回	第Ⅱ部 個別の課題に対する生徒指導 第 4 章 いじめ① pp. 120-128 ・いじめ防止対策推進法 ・いじめ事件の事例	事前学習	教科書（デジタル）pp. 120～128 を通読し、いじめ問題の概要について予習する。
		事後学習	いじめ防止対策推進法が策定された経緯を振り返る。
第 6 回	第 4 章 いじめ② pp. 128-139 ・いじめに関する生徒指導の重層的支援構造 ・いじめの未然防止教育・早期発見対応	事前学習	教科書（デジタル）pp. 128～139 を通読し、いじめ防止対策について予習する。
		事後学習	生徒指導におけるいじめ問題解決の方法について各自の意見をまとめる。
第 7 回	第 5 章 暴力行為 pp. 141-152 ・暴力行為の現状と対応	事前学習	教科書 pp. 141～152 を通読し、暴力行為の現状と対応について予習する。
		事後学習	暴力行為への対応について各自の意見をまとめる。
第 8 回	第 6 章 少年非行 pp. 153-170 ・少年法、児童福祉法 ・少年非行とその対応	事前学習	教科書 pp. 153～170 を通読し、少年非行の現状と対応について予習する。
		事後学習	少年の健全育成について各自の意見をまとめる。
第 9 回	第 7 章 児童虐待 pp. 171-188 ・児童福祉法・児童虐待の防止等に関する法律等 ・児童虐待の発見・通告、関係機関との連携体制	事前学習	教科書 pp. 171-188 を通読し、児童虐待の問題点を把握する。
		事後学習	児童虐待の発見・通告・関係機関との連携体制を振り返る。
第 10 回	第 8 章 自殺 pp. 189-208 ・自殺対策基本法等 ・自殺予防に関する生徒指導の重層的支援構造	事前学習	教科書 pp. 189-208 を通読し、学校教育での自殺の実態と予防について予習する。
		事後学習	学校・関係団体等との連携を図りながら自殺予防対策をどのように進めるか振り返る。
第 11 回	第 9 章 中途退学 pp. 209-220 ・中途退学の関連法規と基本方針 ・中途退学の未然防止と組織体制	事前学習	教科書 pp. 209-220 を通読し、中途退学の現状と未然防止について予習する。
		事後学習	高校生の中途退学の現状を調べ、高等学校中途退学生徒予防についてまとめる。
第 12 回	第 10 章 不登校 pp. 221-239 ・不登校に関する関連法規・基本方針 ・不登校に関する生徒指導の重層的支援構造	事前学習	教科書 pp. 221-239 を通読し、不登校の現状と対応について予習する。
		事後学習	不登校生徒への対応について、各自の建設的な意見をまとめる。
第 13 回	進路指導・キャリア教育の理論と方法① ・進路指導の意義と性格 ・進路指導の実態と課題、展望	事前学習	自らの進路指導の成果と課題を整理し、授業に臨む。
		事後学習	進路指導の意義、指導の実態や課題等をまとめ、考察する。
第 14 回	進路指導・キャリア教育の理論と方法② ・キャリア教育の背景・必要性 ・キャリア教育の基礎的な考え方	事前学習	配布資料「キャリア教育推進の手引き」（文部科学省・平成 18 年 11 月）を通読し、キャリア教育について予習する。
		事後学習	キャリア・カウンセリングの実践方法についてまとめ、キャリア教育の方法について考察する。
第 15 回	全体のまとめ	事前学習	本講義における自らの学びの履歴をまとめること。
		事後学習	今回の学びの成果と課題に関するレポートを作成すること。